

2021年9月5日 午前礼拝 説教:大木英雄牧師
「御霊に満たされたピリポ」

使徒 8:1~8

- 1 サウロは、ステパノを殺すことに賛成していた。その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外の者はみな、ユダヤとサマリヤの諸地方に散らされた。
- 2 敬虔な人たちはステパノを葬り、彼のために非常に悲しんだ。
- 3 サウロは教会を荒らし、家々にはいて、男も女も引きずり出し、次々に牢に入れた。
- 4 他方、散らされた人たちは、みことばを宣べながら、巡り歩いた。
- 5 ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。
- 6 群衆はピリポの話聞き、その行なっていたしるしを見て、みなそろって、彼の語ることに耳を傾けた。
- 7 汚れた霊につかれた多くの人たちからは、その霊が大声で叫んで出て行くし、大ぜい中風の者や足のきかない者は直ったからである。
- 8 それでその町に大きな喜びが起こった。

使徒 8:1, サウロは、ステパノを殺すことに賛成していた。その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外の者はみな、ユダヤとサマリヤの諸地方に散らされた。

サウロはパリサイ人ですから律法を守ることに命を懸けていた。ステパノは「律法を守ることによって悪魔の奴隷から解放されるのではない、キリストはご自身の命という代価を払って悪魔の奴隷から買い戻してくださるのです」と宣べ伝えたのです。ですからサウロにとってステパノは敵なのです。

その日、エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こったのです。悪魔にとって自分の奴隷がイエス・キリストの命によって、どんどん買い戻されていくのです。これはなんとしても食い止めなければならないのです。悪魔の武器は死です。悪魔はこれ以上イエス・キリストを宣べ伝える者を殺すことです。使徒たちは捕まえても天使がまた逃がしてしまうので、使徒たちは迫害されなかったのです。

使徒 8:2, 敬虔な人たちはステパノを葬り、彼のために非常に悲しんだ。

敬虔なクリスチャンはステパノの殉教を非常に悲しんだのです。ステパノはイエス様を信じているのです。

ヨハネ 11:25, イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」

ステパノはキリストの再臨の時に復活してまた会えますが、人間的に同情したのです。

使徒 8:3, サウロは教会を荒らし、家々にはいて、男も女も引きずり出し、次々に牢に入れた。

サウロは律法主義者ですから、悪魔の奴隷からイエス様はご自分の命を身代金として払って買い戻してくださるといふ素晴らしい福音を知らないのです、福音を信じる者を皆殺しにしようとしたのです。

使徒 8:4, 他方、散らされた人たちは、みことばを宣べながら、巡り歩いた。

福音を宣べ伝えることによって迫害され、エルサレムから逃げてきたのです。福音を宣べ伝えると益々迫害されることを知っているのです。どうしてみ言葉を宣べ伝えるのでしょうか。

使徒 8:8, それでその町に大きな喜びが起こった。

福音を語ることによって信じる人が起こされる時、宣べ伝えた人に喜びがあるのです。これは福音を宣べ伝えた人でないと分かりません。これは中国であんなに迫害があるのに福音を宣べ伝える人が多く起こされている証拠です。

使徒 8:5, ピリポはサマリヤの町に下って行き、人々にキリストを宣べ伝えた。

使徒 8:6, 群衆はピリポの話聞き、その行なっていたしるしを見て、みなそろって、彼の語ることに耳を傾けた。

使徒 8:7, 汚れた霊につかれた多くの人たちからは、その霊が大声で叫んで出て行くし、大ぜいの中風の者や足のきかない者は直ったからである。

悪霊は聖霊様によって追い出されます。

マタイ 12:22, そのとき、悪霊につかれた、目も見えず、口もきけない人が連れて来られた。イエスが彼をいやされたので、そのおしはものを言い、目も見えるようになった。

ユダヤ人の中にも悪霊につかれた人の中から、悪霊につかれた人と会話をして、その悪霊の名前を聞き出すのです。そしてその悪霊の名前を呼んで、その悪霊を追い出すのです。

しかし悪霊につかれた人や、口がきけない人は、その悪霊と会話ができないので、「その悪霊を追い出すことが出来るのはメシヤだけだ」とパリサイ人が教えていたのです。

ですからイエス様が口のきけない人から悪霊を追い出したのだから、イエス様がメシヤだと分かるはずです。ユダヤ人たちは再臨されるキリストをメシヤと呼んでいました。

マタイ 12:23, 群衆はみな驚いて言った。「この人は、ダビデの子なのだろうか。」

マタイ 12:24, これを聞いたパリサイ人は言った。「この人は、ただ悪霊どものかしらベルゼブルの力で、悪霊どもを追い出しているだけだ。」

マタイ 12:25, イエスは彼らの思いを知ってこう言われた。「どんな国でも、内輪もめして争えば荒れすたれ、どんな町でも家でも、内輪もめして争えば立ち行きません。」

ところがパリサイ人はイエス様が「悪霊どもの頭ベルゼブルによって悪霊を追い出している」というのです。悪霊の頭はサタンです。イエス様は聖霊によって悪霊を追い出したのです。ところがパリサイ人はイエス様が「サタンによって悪霊を追い出している」というのです。

マタイ 12:26, もし、サタンがサタンを追い出していて仲間割れしたのだったら、どうしてその国は立ち行くでしょう。

私であればそんなパリサイ人と話したくないです、しかしイエス様はたとえ話によって聖霊によって悪霊を追い出したのだと教えているのです。たとえ話は日曜学校の先生が日曜学校の生徒にわかりやすく話すときに用いるものです。

マタイ 12:27, また、もしわたしがベルゼブルによって悪霊どもを追い出しているのなら、あなたがたの子らはだれによって追い出すのですか。だから、あなたがたの子らが、あなたがたをさばく人となるのです。

「あなたがたの子ら」とは、ユダヤ人の中にも悪霊と会話をして悪霊の名前を聞いてその名前を呼んで悪霊を追い出している人がいました、その人の事です。その人はサタンによって悪霊を追い出しているのですか？イエス様の説得力はものすごいです。誰も反論できません。

マタイ 12:28, しかし、わたしが神の御霊によって悪霊どもを追い出しているのなら、もう神の国はあなたがたのところに來ているのです。

イエス様は「聖霊によって悪霊を追い出しているのです」と教えています。イエス様の教え方は見事です。

マタイ 12:29, 強い人の家にはいって家財を奪い取ろうとするなら、まずその人を縛ってしまわないで、どうしてそのようなことができますでしょうか。そのようにして初めて、その家を略奪することもできるのです。

「強い人」 = 悪霊

まず悪霊を縛ってしまわなければ、家財を奪い取ることはできません。イエス様の教え方は日曜学校の生徒でもわかります。

マタイ 12:31, だから、わたしはあなたがたに言います。人はどんな罪も冒瀆も赦していただけます。しかし、聖霊に逆らう冒瀆は赦されません。

どんな罪でも許されます。

Iヨハネ 1:9, もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。
しかし聖霊の働きをサタンの働きというようなものは赦されません。ここで教えているのはイエス様の権威です。

マタイ 28:18, イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。

マタイ 12:32, また、人の子に逆らうことばを口にする者でも、赦されます。しかし、聖霊に逆らうことを言う者は、だれであっても、この世であろうと次に来る世であろうと、赦されません。

結論

ピリポを聖霊で満たして下さった神様は、私たちが聖霊で満たす事が出来ないでしょうか。

エペソ 5:18, また、酒に酔ってははいけません。そこには放蕩があるからです。御霊に満たされなさい。

御霊に満たされる方法

(1) 私たちが意識している自分の罪をすべて告白すること。

マタイ 22:39, 『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。

一番愛し合わなければならない夫婦でも 4 組に 1 組は離婚しています。人間はみな自己中心で傲慢です。これでは御霊に満たしていただくことはできません。御霊に満たされるというのはガソリンスタンドでガソリンを満タンにすることと違います。聖霊様は神様ですから私たちの心を神様に支配していただくことです。

マタイ 22:39, 『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。

「あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ」これを守っていないことが罪です。ほとんどの人が守っていないと思います。

Iヨハネ 1:9, もし、私たちが自分の罪を言い表わすなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

私などは 1 日に 100 回ぐらいは祈っています。

(2) 御霊に満たされることを祈り求めなければなりません。

ヨハネ 7:37, さて、祭りの終わりの大いなる日に、イエスは立って、大声で言われた。

「だれでも渇いているなら、わたしのもとに来て飲みなさい。

ヨハネ 7:38, わたしを信じる者は、聖書が言っているとおり、その人の心の奥底から、生ける水の川が流れ出るようになる。」

ヨハネ 7:39, これは、イエスを信じる者が後になってから受ける御霊のことを言われたのである。イエスはまだ栄光を受けておられなかったため、御霊はまだ注がれていなかったからである。

多くのクリスチャンは霊的な渇きを覚えていません。霊的な渇きを覚えていないというよりも神様の約束を信じていません。「求めなさい、そうすれば与えられます」この神様の約束は無条件です。しかし私たちの方で条件を付けているのです。

私の和歌山の姉や兄は仏教徒だから無理だと、私の方で条件を付けているのです。御霊に満たされることを今までずっと祈ってきましたが、なかなか満たされません。私には無理なんじゃないかと私が条件を付けているのです。御霊に満たされる条件は、本当に渇いている人、どんな犠牲も惜しまない人、すべてを捨てる覚悟が出来ている人に与えられるのです。

ヘブル 11:6, 信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです。

ヘブル 11:6 が教えていることは

- ①約束を守ってくださる神様を信じる事
- ②求める者には報いてくださる神様を信じる事

約束を守ってくださる神様に条件を付けることは不信仰の恐るべき罪です。神様の約束よりも世の常識を重視し、神様を世の常識の僕にしている人は、神様の約束を軽視する罪を犯しています。そういう人は神様の御心を知らず、神様に近づくことはできません。

マタイ 22:39, 『あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。』という第二の戒めも、それと同じようにたいせつです。

私たちは隣人を愛することが出来ないことをいつも悔い改めているクリスチャンから、心から隣人を愛するクリスチャンになりたいと飢え乾いているのでしょうか。

(3) 私たちクリスチャンは全身全霊を神様にゆだねなければなりません。

ゆだねる = 任せる

聖霊に満たされるということは、聖霊に心を支配していただくことだと教えられました。聖霊に心を支配していただくためには、私たちの自我が心を支配したら、聖霊様が心を支配することはできません。

ルカ 9:24, 自分のいのちを救おうと思う者は、それを失い、わたしのために自分のいのちを失う者は、それを救うのです。

自分の命を救おうと思う者 = 自分の自我で自分の心を支配する者
わたしのために自分の命を失う者 = 自分の自我で自分の心を支配しない者

気が付くと自分の思いで考え行動しています。自分の自我で自分の心を支配しない方法は、

I コリント 3:16, あなたがたは神の神殿であり、神の御霊があなたがたに宿っておられることを知らないのですか。

このみ言葉を暗唱する以外に方法はありません。

(4)神様の約束を信じて祈る事

【説教:大木英雄牧師】